

受講生インタビュー



比留間 康二郎さん

34歳 薬局 経営者

「比留間薬局」の三代目。通称「クスリ君」。クスリとの正しい付き合い方や予防医学についてのセミナーで活躍中。わかりやすいスピーチを作るセンスが抜群。第一回「私は自分の仕事が大好き大賞」のスピーチ大会で優勝。

人生をかけて取り組むべきチャンス

話し方の学校に入学したきっかけは、学会での講演依頼でした。「5,000人が集まる学会で、比留間さんの薬剤師としての使命感と、今の医療の闇みたいところを伝えてほしい」と頼まれたんです。これは自分の人生をかけて取り組むべき大きなチャンスだと感じました。もっと上手な話し方を身に付け、聞いている一人ひとりの心に伝わるメッセージを届けられるようになりたいと思ったんです。

入学する時は、不安よりワクワクのほうが強かったです。「もっと自分の考えをわかりやすく表現できるようになれるんだ!」「心に届くスピーチが自分にも出来るようになるんだ!」と思うと楽しみでしかたなかった。特に私は自己紹介がすごく苦手で、毎回はずかしいと感じていました。でも学べば変わるっていう期待があったんです。

自分のことがどんどんわかる

話し方の学校は、話し方を学びに行っているのに、自分のあり方を学びに行っているような授業なんです。もちろん話し方の考え方や技術を教えてもらうんですが、授業が進むにつれて知らなかった自分に出会えます。「自分にはこんないいところがあるんだ」「ここを改善したい!」って自分自身に対する深い気づきが生まれてくる。「話すことは自分の内側を言葉にすることだ」と教わって、納得しました。話し方を学ぶことは、自分を知ることなんです。そして新しく見えてきた自分をみんなが受け入れてくれるから、安心して自分を出していける。話し方の学校をひとことと言うと無条件の愛を体現している「ALOHAな学校」です!

仲間の劇的な成長に勇気をもらった

一緒に学ぶ受講生から、たくさん刺激を受けました。特にクラスメイトの中で一番変化したクミちゃん!一年前、彼女のスピーチを初めて聞いた時は、何を言いたいのか全然わからないし、声も聞き取りづらい。人と目を合わせるのが苦手な人なのかなって印象でした。そんなクミちゃんが、セミナー講師としてデビューしたんです。でもそれも納得です。だって彼女は、誰よりも真剣に時間をかけて課題に取り組んだから。

きちんと自分に向き合ってやりたいことを見つけて、こんなに強くてもまぶしいエネルギーが出てくるんだって私に教えてくれた大切なクラスメイトです。

スピーチ大会で最優秀賞受賞!

沢山の人の共感してもらえるスピーチができるようになったと実感しています。「私は自分の仕事が大好き大賞」というスピーチ大会では最優秀賞に選んでいただきました。自分でも260名の前で会場にいる一人ひとりの心に伝わるスピーチができるんだって、全身で感じる事ができました。話し方の学校に通う前は、こんなことが自分にできるなんて想像もできなかったことです。



受講生インタビュー

聞き手の行動を変えるスピーチができた

私のスピーチは、おばあちゃん一人に感謝を伝える内容でした。260人の前で、こんな個人的なことを話してもいいのかなと最初は不安でしたが、「もっとも個人的なことは、もっとも普遍的なこと」と教えてもらい、やってみたら本当にその通りになったんです。たくさんの方が「自分も明日から周りに感謝を伝えるよ」って言ってくれました。感動して涙を流して聞いてくれただけで十分だと思っていたのに、聞いた人の行動を変えるメッセージを紡ぎ出すこともできたんです。本当にうれしかった！**自分の経験や想いが、多くの人へのプレゼント**になる！これは話し方の学校で学んでいなければ一生気づけなかった価値だと思っています。



相手の真意を感じられるようになった

スピーチを学んだことで、**毎日の生活も変わりました**。薬剤師として働きながらある時、気付いたんです。「あ、人をよく見るようになってる」って。話し方の学校では「相手を全身で見て感じよう」って教わりました。相手が語る言葉だけではなく、表情や雰囲気など全体を見て感じることで、**相手が本当に言いたいことに気づける**ようになるって。正直に言うと今までは、「見てるけど、そんなの分からないよ」って思っていました。でも、気づいたんです。実は見ているようで、ちゃんと見ていなかったんですね。そのことに自分で気づくことができました。

お店が明るくなったとお客様に喜ばれた

社員が以前よりも楽しそうに、私と話してくれるようになりました。すごい変化だと思ってたんですが、驚いたことに社員はみんな「もともと楽しんで話してました」って言うんです。自分が気づけていないだけでした。自分自身が話すことを楽しんでいなかったし、面倒臭がっていたからです。**人と話せることは、大きな喜び**だと感じられるようになりました。その結果、お客様から「お店に入った時の雰囲気が明るくなったね」と言われるようになったのは、本当にうれしいご褒美です。

最高の自分をスピーチで演じる

スピーチって演劇と似ていると思います。スピーチも、演じることだと思うからです。といっても、自分と全然違うキャラクターになるわけじゃありません。**いつもよりもっと自分らしい役柄を演じることが**できるんです。鴨頭さんを見ているとそんなイメージなんです。本人はそうは思っていないかもしれないのですが、あの「鴨頭嘉人」っていう役を最高に演じている場がスピーチだになって僕は感じています。スピーチで立つ舞台は、恐れる場所じゃない。「**自分らしさを最大限に出せる場所**」です。そんなステージに立つこと目指すことで、表現したい最高の自分を見付けていく、それが話し方の学校の授業なんだと私は思っています。



卒業生インタビュー



堂嶋 賢征さん

27歳 治療家

TEDx Tokyo yz でおこなったスピーチが反響をよび、学習院大学に2年連続プレゼンテーション演習ゲスト講師として、また台湾のTEDにもゲストスピーカーとして招かれる。

授業のたびに、限界を超えていける

話し方の学校に通って得たことは、「話す技術」はもちろんですが、それ以上に自分が伝えたいメッセージに気付けたこと。それが一番大きいです。授業ごとに出される課題に、毎回悩んで、悩んで、悩んで、「もうこれ以上無理!!」というところまで考え抜いてから授業に挑みました。すると、鴨さんが「これはこう言いかえると聞きやすい」「ここはこの文章と繋がる」と的確なアドバイスをくれるんです。**自分の限界まで考えたスピーチが、講師のアドバイスによって驚くほど生まれ変わる。**自分一人では絶対に出せない表現や構成が生まれるんです。たった数時間の授業の中で、自分の考えたスピーチがドンドン良いものに生まれ変わっていくのがわかるんですよ。

本当の自分を見つけるのがスピーチ

スピーチを作っていくことは、これまでの人生を予想以上に深く掘り起こす作業でした。伝えたいことを模索することは、頭の中を整理するというよりも、**本当の自分を見つける**という感覚なんです。

一緒に授業を受けた仲間も沢山のフィードバックをくれました。たった6回の授業でしか会っていないとは思えない**深い絆ができましたね。**

印象深いのは、茨城にある商社の二代目社長であるカズさんの言葉です。「話し方の学校でこんなに人生を考えさせられるとは思わなかった」って話してくれた時、気付かされました。自分より遥かに凄い人がここまで考えてやっているのに、今の自分の取り組みはダメなんだって。

こんな風に仲間からも、授業に臨む姿勢や、日常の課題への取り組み方などいつも教えられていたなと感謝しています。

聴衆の反応が変わった!

話し方の学校に通ってから、スピーチをした時の**聴衆の反応がとにかく変わりました。**

構成や言葉の選び方など教わったことを実践したことで、前よりも話が聴きやすくなって、芯が通ったからだと思います。話す時に余分なことが削がれたんです。自分にとって、話し方の学校はある意味「墓場」のようなところ。過去の自分へのこだわりを捨てることができたからその結果、自分の**言葉の力が強くなった**と思います。



卒業生インタビュー

先生が熱すぎ！本気すぎ！

話し方の学校では、まず先生が本気！本気すぎて困っちゃうくらい本気です！だって、17 時終了予定の授業が、終わったのが 22 時だったことがあったんですよ！衝撃でした。鴨さんも疲れているはずなのに、どんどん熱が入ってくるのを感じました。

あそこまで本気で教えてくれるところなんて他にはないんじゃないかな（笑）

最高のチームを作ってくれる先生

鴨さんは、**クラスが仲間になれる空気、自由に発言してもいい雰囲気**など、チームとしてのまとまりを作ってくれました。鴨さんがいなければ、あそこまで一丸となつて本気で取り組むことはできなかったと思います。

大学で講師をしたら質問の行列が！

話し方の学校で、自分の伝えたい思いに向き合い、スピーチを磨いていると、環境にも新しい変化が起こりはじめました。**スピーチの依頼が来るようになったんです。**

先日は、学習院大学の「プレゼンテーション演習」という講義に、ゲスト講師として招かれました。

行ってみるとみんな眠そうにしていたので、準備していた話ではなく、学生目線の話にその場で切り替えました。その結果、授業が終わったあと、質問の行列ができ、依頼してくださった藤崎 実先生からも、「あんなに生徒たちから質問が出た授業は初めてです」と嬉しい言葉を頂きました。「話し方の学校」で学んだことをまるごと出せた結果だと思います。

おかげさまで、2年連続、学習院大学でゲスト講師を務めさせて頂きました。



やればできる！自信がついた

話し方の学校の授業は、**誰でも全員一度は受けるべき**だと思っています。

これから何かやろうと思っている人、すごくなりたいと思っている人には受けてほしいですね。

これから一生話し続けるんですから、早いうちにやった方がいいに決まっています。20代で知っているのと知らないのとではすごい差です。

それに、本気で学ぼうとしている人生の先輩たちと共に学べるってということにも大きな価値がありますね。

